

発言通告書要旨 (1枚目/全2枚)

氏名 山口 忠志

発言番号	発言事項及び発言要旨	備考
1	<p>令和6年度財政指標について</p> <p>令和6年度の経常収支比率は前年より0.4ポイント増加し、95.9%になり、毎年悪化している。</p> <p>物価高騰など様々な要因も影響していると考えられるが、財政基盤を示す「財政力指数」もポイントを若干下げている。</p> <p>財政健全化を示す健全化判断比率等も国の定める基準に照らすと何ら問題ないのかもしれないが、悪化していることが将来的に不安要因である。</p> <p>多様化する行政ニーズの対応、今日的な社会情勢の変化、いつ起こるともわからない自然災害も考慮し、今後の財政運営に努めていただきたいと考えるが、財政指標等を改善していくためには市としてどのように対応していくのか。</p>	
2	<p>(1) ふるさと納税について</p> <p>ポイント付与の廃止対応について</p> <p>これまで、ふるさと納税の寄付者はふるさと納税をする際にふるさと納税サイトから寄付を行っていると思うが、総務省は本年10月からそのポイント付与制度を廃止するとしている。すなわちポイントが付与されるのは9月いっぱいということになる。そうすると、駆け込みで9月にふるさと納税をする方が増えてくると考えられるが、これまで主力であった海産物等以外にも、この9月に提供できる返礼品などの開発を行い、積極的に寄付額の増大を図るべきと考える。寄付拡大に向けた戦略はあるのか。</p>	
	<p>(2) ふるさと納税を活用した地域経済活性化策について</p> <p>ふるさと納税は、単に財源確保だけではなく、地域の事業者にとっても新たな商品の開発・販路拡大の機会となり、地域経済の活性化に大きく貢献する可能性を秘めている。</p> <p>市内事業者が、より魅力的な返礼品を開発できるよう、市として支援策を考えていないのか。</p>	
	<p>(3) ふるさと納税の今後の展望について</p> <p>ふるさと納税を通じて本市のファンを増やし、本市を応援したくなるような戦略を講じていかねばならないと考えるが、今後の展望について尋ねる。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全2枚)

氏 名 山 口 忠 志

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
3 (1)	<p>山中温泉ぬくもり診療所について 開業医アンケート結果と地域医療審議会での意見について</p> <p>令和7年3月定例会で加賀市の地域医療の充実に関する答申書の内容についての同僚議員の質問に対して、山中圏域の住民の不安に配慮しながら、維持すべき外来診療機能の見極めや、交通弱者への支援の検討等を踏まえて進めたいという答弁があった。その根拠のため山中温泉ぬくもり診療所に通院している患者の実態調査や山中圏域の内科医院及び市内の整形外科に地域医療提供体制についてのアンケート調査を行ったと思われるが、その中で各医院からの結果の概要およびどのような意見があったかについて問う。</p> <p>また、今年8月18日に開催された第1回地域医療審議会でのその結果の報告があったが、調査報告を受けた委員からどのような意見が出されたかについて問う。</p>	
(2)	<p>今後のスケジュールについて</p> <p>令和8年4月1日以降の病院事業編入に向けて、先日の加賀市地域医療審議会での意見を踏まえて、今後どのようなスケジュールで進めていくのか。</p>	
(3)	<p>児童発達支援センター「このゆびと一まれ山中」について</p> <p>公益社団法人地域医療振興協会が現在自主事業で行っている児童発達支援センター「このゆびと一まれ山中」の今後の在り方についてどのように考えているのか。</p>	